

# わたしは ダメサレナイ!!

第21話 ブランド品販売詐欺

●監修 樋山 昌子 (ひやま・まさこ)

東京都消費生活総合センター／消費生活専門相談員

このコーナーで紹介するまんがは、実際に起きた事件をもとに、その「だましのシーン」を再現したものです。なぜだまされてしまうのか？ここで再現する巧みな策略に、その秘密が隠されています。「私だけは大丈夫！」なんて甘く考えてはいませんか？実はそう考える人こそ被害に遭いやすいのです。



ネット販売でニセモノのブランド品を  
ホンモノと偽り販売する詐欺被害が急増

インターネットのショッピングサイトなどで、さも本物のブランド品を安価で販売しているように表示、販売し、ニセモノを送りつけたうえ、騙されて購入した被害者からの返品や返金の申し出に応じないといった詐欺被害が若者層を中心に急速に広まっています。

## ポイント1

ネットショッピングの日常化が背景に

インターネットショッピングは、商品を実際に手に取って見る事ができない、クレジット決済はセキュリティ面で不安があるなど、利用を控えている人も多くいるのではないだろうか。しかし家にいながら買い物ができるなど利用者にとって大変利便なうえ、店頭で購入する場合よりも安価である場合も多いため、その利用者数は増加傾向にあります。特に若い世代にとっては、生活用品や書籍、ファッション雑貨や旅行、音楽ダウンロードなど、さまざまな商品をネットで購入することは、いまや日常化しているといっても過言ではありません。

ネット上ではさまざまな品が売られています。ブランド品もそのひとつです。ネットショッピングでは直接商品を確認することができないため、とくに高価なブランド品を購入する場合には、ホンモノを手に入れるために、サイトの運営業者や販売業者の信頼性を確認することがとても大切です。

## ポイント2

販売価格が3分の1の場合も!

掲載されている写真を見て信用



今回の主人公は若い夫婦です。貯蓄などやりくりで苦労しているなか、ネットサーフィンをしている途中でブランド品の激安サイトを発見します。販売価格は非常に安く、たとえば通常価格の3分の1程度に設定されていることがあります。もちろん画面上には本物のブランド品の写真が掲載されているため、それを見て申し込みをしまいます。

ほとんどの人が最初は「どうしてこんなに安いのか？」などと不審に思いますが、ネット上の写真を見て信用してしまい購入を決めてしまうのです。

なお、ネットショッピングではクレジットカードや代金引換払いなどで決済する方法が一般的ですが、こうした詐欺では銀行振込みで決済します。また振込口座は個人名の口座が大半です。

お金を振り込むと、間もなく商品が送られてきます。しかし発送元は、なぜかサイト運営業者や販売業者とは関わりのないような外国である場合が多く、送られてきた商品は一見して素人でも二セモノと分かるものばかりです。

### ポイント3

#### 事後対策は難しい

#### ひっかからない事前対策が大切

二セモノをつかまされ、クレームを申し入れると「商品を送り返してくれればホンモノを再送します」などと言われる場合もあります。が、「ホンモノ」が送られてくることはありません。次第に連絡はつかなくなり、被害者が問い合わせメールを送っても返信は来ず、そのうちに当該サイトがなくなってしまうのです。このとき被害者のメールアドレスが悪質業者の間に流出している可能性があります。



この物語はフィクションです

「詳しい情報やご相談」  
 ●全国の消費生活センター  
 ●東京くらしWEB 消費者被害情報  
<http://www.shouniseikatu.metro.tokyo.jp/sodan/kinkyu/130213.html>

今回紹介したブランド品販売詐欺は、ブランド品を格安で手に入れたという人の心につけ込むものです。こうした被害に遭わないためには、販売されている商品の価格が非常に安い場合にはまず疑ってみるような、「健全な猜疑心」も必要でしょう。被害に遭うと被害回復は困難です。契約は慎重に検討し、少しでも不審点があれば、最寄りの消費生活センターに相談しましょう。

※口座凍結…財産を侵害する犯罪に利用されたと思われる預金口座にお金を振り込んでしまった場合には、「振り込め詐欺救済法」(犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払などに関する法律)に基づき警察や振込先の金融機関に連絡・届け出を行い、振込先口座の凍結(取引の停止)をしてもらうことができます。

こうした被害に遭った場合には、サイト自体が消滅してしまうため、悪質業者を特定することが難しく、現在では有効な対策はありません。ただ、これ以上被害を増やさないために、警察や銀行に申し出て、※振込先の口座の凍結を検討してもらうことも考えられます。ネットショッピングを利用する場合、特にブランド品の購入は、サイト運営業者や販売業者の信用性が重要です。慎重に検討し契約しましょう。